

イネ縞葉枯病抵抗性をもつ飼料用米品種の品種特性			
[要約]イネ縞葉枯病抵抗性の飼料用米品種「なつあおば」「北陸 193 号」「モグモグあおば」「クサノホシ」は、5 月下旬に移植し、施肥窒素量を「コシヒカリ」標準栽培プラス 6 kg/10a の多肥にすることで、いずれも粗玄米重 700kg/10a 到達可能。ただし「なつあおば」は立毛乾燥が必要で、「クサノホシ」は熟期が遅く倒伏に注意する。			
農業総合センター農業研究所	平成 26 年度	成果区分	技術情報

1. 背景・ねらい

主食用米の需給調整や食糧自給率向上等のため、飼料用米は増産や安定生産が求められている。また、生産現場においては、主食用米との混入防止から、主食用米より遅い作期での栽培が推進されている。また、県西を中心としてイネ縞葉枯病の発生が懸念されることから、イネ縞葉枯病抵抗性の飼料用米品種について、主食用との栽培条件を想定した 5 月下旬移植における、熟期や栽培性を検討する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 極早生品種「なつあおば」は、「コシヒカリ」標準栽培プラス 6 kg/10a (基肥窒素 9 kg+穂肥窒素 5 kg/10a、穂肥は出穂前 20 日に施用) の施肥条件 (以下多肥条件) において、粗玄米重 700kg/10a 以上が得られ、倒伏は見られなかった。このため施肥量の増加により、さらに増収が見込まれる。成熟期は「べこあおば」より 16 日早く、9 月上旬となるため、主食用と収穫期が重ならないよう立毛乾燥を行う必要がある (表 1、図 1)。
- 2) 晩生品種「北陸 193 号」は、多肥条件において、850kg/10a 以上が得られ極多収で、倒伏は見られず、成熟期は「クサホナミ」より 11 日早く 10 月中旬である。脱粒性はやや難～中のため、刈り遅れによる脱粒に注意する (表 1、図 1)。
- 3) 極晩生品種「モグモグあおば」は、多肥条件において、粗玄米重 700kg/10a 以上が得られ、倒伏は見られなかった。このため、施肥量の増加により、さらに増収が見込まれる。脱粒性は難で、成熟期は「クサホナミ」より 2 日早く 10 月下旬である (表 1、図 1)。
- 4) 極晩生品種「クサノホシ」は、多肥条件において、粗玄米重 750kg/10a 程度が得られたが、倒伏がやや大きく、成熟期が「クサホナミ」より 23 日遅く 11 月中旬となる (表 1、図 1)。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 水田利用研究室 (中粗粒灰色低地土、龍ヶ崎市) における坪刈りの試験結果である。
- 2) 水田利用研究室における標準栽培「コシヒカリ」(4 月下旬～5 月上旬移植) の総窒素量は 8 kg である。なお、10 a あたり総窒素量 14kg は、その 1.8 倍に相当するが、各地域の地力や生育に応じて調節する。地力を補うため、4 月 23 日に豚ふん堆肥 150kg/10a (窒素 2.3%) を施用している。
- 3) 水管理は、中干しを「コシヒカリ」標準栽培と同様に実施し、間断灌漑を成熟期直前まで実施した。
- 4) 「北陸 193 号」「夢十色」は、浸種の前に、必ず、乾燥した種子を 50℃で 5 日間の乾熱処理を行い、休眠を打破する。また「夢十色」はトリケトン系除草剤成分に白化・枯死を伴う薬害が発生するため、本成分を含む除草剤を使用しないよう注意する。

4. 具体的データ

表 飼料用・多収性品種の生育、収量、特性 (H26年)

熟期	品種名	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	登熟期間 (日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/㎡)	一穂粒数 (粒/穂)
早生	なつあおば*	7/21	9/4	45	96	21.1	392	101
	(対照) 夢あおば*	7/28	9/23	58	85	23.0	337	121
	(参考) べこあおば	7/30	9/20	52	74	21.0	418	112
	(参考) チヨニシキ	7/29	9/20	53	90	20.9	576	96
中生	(参考) ホシアオバ*	8/5	10/8	64	96	23.1	319	120
	(参考) 夢十色	8/7	10/6	60	82	25.7	328	133
	(参考) ゆめひたち	8/4	9/21	48	82	18.8	517	83
晩生	北陸193号*	8/12	10/14	63	90	27.4	292	159
	(参考) あさひの夢*	8/10	10/10	61	82	21.1	448	75
	(参考) あきだわら	8/10	10/10	61	82	20.9	396	107
極晩生	モグモグあおば*	8/13	10/23	72	101	21.5	299	139
	クサノホシ*	8/25	11/18	85	104	20.9	305	140
	(対照) クサホナミ*	8/22	10/25	65	91	20.9	307	157

熟期	品種名	粒数 (100粒/㎡)	全重 (kg/10a)	粗玄米重 (kg/10a)	収量比 (%)	千粒重 (g)	脱粒性	倒伏程度 (0-5)
早生	なつあおば*	397	1813	738	97	21.3	難	0.0
	(対照) 夢あおば*	408	1913	763	100	24.9	難	0.0
	(参考) べこあおば	469	1963	854	112	31.2	難	1.0
	(参考) チヨニシキ	553	1896	733	96	21.9	難	2.0
中生	(参考) ホシアオバ*	382	2203	803	100	29.2	やや難	0.0
	(参考) 夢十色	436	1935	823	102	22.6	中～やや易	5.0
	(参考) ゆめひたち	427	2128	736	92	21.2	難	2.0
晩生	北陸193号*	464	2538	873	111	23.8	やや難～中	0.0
	(参考) あさひの夢*	336	2359	721	91	22.4	難	0.0
	(参考) あきだわら	425	2185	745	95	22.0	難	0.0
極晩生	モグモグあおば*	415	2203	721	91	28.2	難	0.0
	クサノホシ*	427	2288	754	96	26.0	やや難～中	2.8
	(対照) クサホナミ*	482	2148	788	100	23.7	やや難～中	1.0

注) *はイネ縞葉枯病抵抗性品種、移植期:5月22日、栽植密度:18.5株/㎡
 施肥窒素量:基肥9+穂肥5kg/10a、穂肥は出穂20日前に施用
 収量比:早生品種は「夢あおば」、中生品種は「ホシアオバ」、晩生・極晩生品種は「クサホナミ」を100として計算
 倒伏程度:0(無)～5(甚)の6段階評価、千粒重:1.85mm篩で調製後の値
 脱粒性:成熟期に穂を手で握り、籾の脱離数から極難、難、やや難、中、やや易、易、極易の7段階で評価

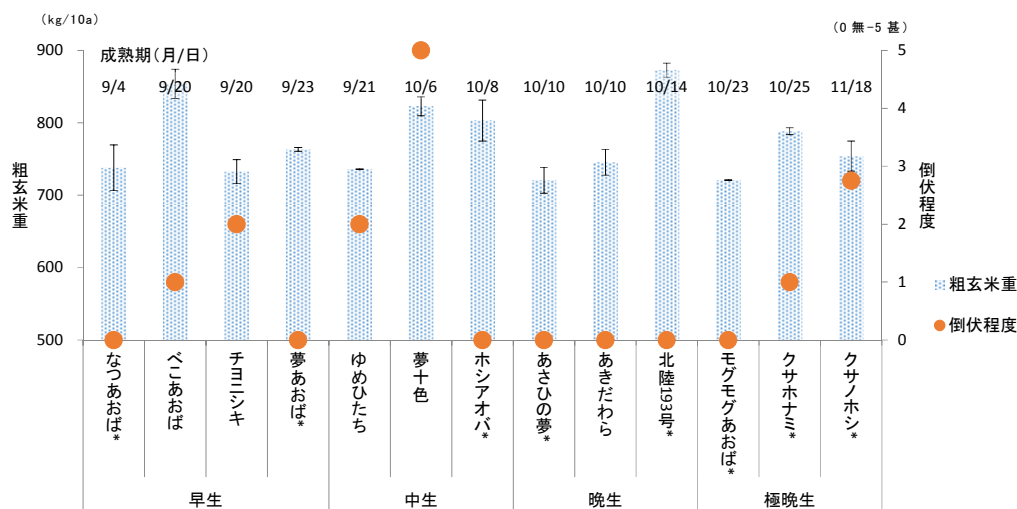


図1 飼料用・多収性品種の粗玄米重、倒伏程度、成熟期

注)「夢十色」は10月5、6日の降雨により倒伏した。その他は表1に準ずる

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

縞葉枯病抵抗性飼料用米品種の選定と安定多収栽培技術の確立・平成26～平成28年度・水田利用研究室